

【工業技術センターの支援について】

C： 私どもは先ほど工場を知事にも見てもらいましたように、チェアを作っているメーカーです。主にオフィスチェア、パチンコチェアの2本立てで製造販売をしております。ここ近年、世の中の景気が悪くなって一番にしわ寄せが来るのが、備品を抑えるということで、我々のチェアは真っ先に売れないという状況で、また逆に世の中の景気が回復しても、お金を使うのは、一番最後といった形で、この家具業界というのは不況業者の1つだと言われてます。

そういった中で、ピーク時の約35%ほどの売上げダウンという形で現在を過ごしていますが、オフィスと別にパーラー事業ということを手がけており、おかげさまでパーラーチェアのほう为全国1位というシェアをとるまでになり、約50%ぐらいのシェアというふうに言われてます。

本社グループ全体で、このチェアを年間約17万から20万脚生産してます。そのうちの7万脚を、こちらの方で製造をして全国に発送しているという状況です。

そういった中で今後も私どもとしては、チェアの主要部品の鉄の部品というのが、20%~30%くらい残っていますが、新しい材料の開発を行い、今の金属部分を樹脂など別の素材でできないか、また、それを対外的に県外のほうにも販売するという新しい販路を増やしていけないかと考えています。そういう中で1つお願いしたいのが、なかなか新しく開発をするといっても設備があるわけでも、ノウハウがあるわけでもないの、県の工業技術センターの設備を貸していただくとか、いろいろなノウハウを教えてくださいとかの協力を今後お願いしたいと思っております。

知事： 工業技術センターについてそうって言うていただくのは、本当にありがたいことです。県としても製造業ポータルサイトを利用した事業者の支援とか、技術支援というのを大幅に強化しようとしているところですから、是非、使い倒してやっていただきたいと思います。

そしてまた、産学官連携のアクションプランを作る、より一段上を目指していくような取り組みということについても産学官連携を始めていきたいと思っております。